

$a \sin \theta + b = 0 (0 \leq \theta < 2\pi)$  の方程式は次の手順で解きます。(cos と tan も同様です。)

①  $a \sin \theta + b = 0$  は、移項を行って、 $\sin \theta = -\frac{b}{a} = c$ (定数)の形に直します。

② 単位円をかいて、 $\sin \theta = r$  を満たすような  $\theta$  を求めます。

次の三角関数の値早見表(三角関数  $\rightarrow \theta$ )が利用できるような問題が多く出るので、これを参考にするといいでしょう。

③ 一般角は、②で求めた解に $+2n\pi$ ( $n$ は整数)を加えて終了です。

三角関数の値早見表(三角関数  $\rightarrow \theta$ )

$\sin \theta$	-1	$-\frac{\sqrt{3}}{2}$	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$	$-\frac{1}{2}$	0	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	1
$\theta$	$\frac{3}{2}\pi$	$\frac{4}{3}\pi, \frac{5}{3}\pi$	$\frac{5}{4}\pi, \frac{7}{4}\pi$	$\frac{7}{6}\pi, \frac{11}{6}\pi$	0	$\frac{1}{6}\pi, \frac{5}{6}\pi$	$\frac{1}{4}\pi, \frac{3}{4}\pi$	$\frac{1}{3}\pi, \frac{2}{3}\pi$	$\frac{\pi}{2}$
$\cos \theta$	-1	$-\frac{\sqrt{3}}{2}$	$-\frac{1}{\sqrt{2}}$	$-\frac{1}{2}$	0	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	$\frac{\sqrt{3}}{2}$	1
$\theta$	$\pi$	$\frac{5}{6}\pi, \frac{7}{6}\pi$	$\frac{3}{4}\pi, \frac{5}{4}\pi$	$\frac{2}{3}\pi, \frac{4}{3}\pi$	$\frac{1}{2}\pi, \frac{3}{2}\pi$	$\frac{1}{3}\pi, \frac{5}{3}\pi$	$\frac{1}{4}\pi, \frac{7}{4}\pi$	$\frac{1}{6}\pi, \frac{11}{6}\pi$	0
$\tan \theta$		$-\sqrt{3}$	-1	$-\frac{1}{\sqrt{3}}$	0	$\frac{1}{\sqrt{3}}$	1	$\sqrt{3}$	$\times$
$\theta$		$\frac{2}{3}\pi, \frac{5}{3}\pi$	$\frac{1}{4}\pi, \frac{5}{4}\pi$	$\frac{5}{6}\pi, \frac{11}{6}\pi$	0	$\frac{1}{6}\pi, \frac{7}{6}\pi$	$\frac{3}{4}\pi, \frac{7}{4}\pi$	$\frac{1}{3}\pi, \frac{4}{3}\pi$	$\frac{1}{2}\pi, \frac{3}{2}\pi$

$\sin(a\theta + b) = c (0 \leq \theta < 2\pi)$  の方程式は次の手順で解きます。(cos と tan も同様です。)

①  $a\theta + b = t$  とおき、まず  $t$  の値の範囲を求めます。

$0 \leq \theta < 2\pi$  のとき、まず両辺を  $a$  倍すると、 $0 \leq a\theta < 2\pi a$

両辺に  $b$  を加えると、 $b \leq a\theta + b < 2\pi a + b$  よって、 $b \leq t < 2\pi a + b$

②  $\sin t = c (b \leq t < 2\pi a + b)$  を範囲に注意して解きます。

③ ②で求めた  $t$  の値を  $\theta = \frac{1}{a}(t - b)$  に代入して、 $\theta$  の値を求めます。

$a \sin^2 \theta + b \sin \theta + c = 0 (a \cos^2 \theta + b \cos \theta + c = 0)$  の方程式の解き方

1種類の三角関数のみの2次式は、 $\sin \theta = t$  とおくと、 $at^2 + bt + c = 0$  となり、因数分解または解の公式を用いることで、解を求めることができます。

$a \sin^2 \theta + b \cos \theta + c = 0 (a \cos^2 \theta + b \sin \theta + c = 0)$  の方程式の解き方